

1. 中学生の自転車通学の解禁を

みなみ地区エリアの人口は今や974人、377世帯（平成31年1月1日時点）となり、開成駅の急行停車が決定して以降は住宅建設がさらに加速しており、更なる人口増が期待される。昨年4月に設立されたみなみ自治会の運営も30～40代の役員・組長が中心となって現在順調に運営されており、アパートを除く個人住宅に限定すれば自治会加入率は既に70%を超えている。

みなみ自治会の年齢層は現在40代以下で9割を占めていることは周知の通りであり、子どもたちも現在は小学生・未就学児が圧倒的に多く、中学生はまだ少ないのが現状であるが、いずれ多くの子どもたちが文命中学校に通学することになる。しかしながら、みなみ地区に限らず町内の中学生は、自宅からの距離に関わらず徒歩で毎日通学しなければならず自転車による通学は認めていない。

そこで、次の事項を問う。

- ① 中学生の自転車通学を認めていない理由と経緯は。
- ② 近隣市町村（3市4町）の実態は。
- ③ 現中学生及び現小学生、保護者からの自転車通学についての意見聴取を。
- ④ 仮に自転車通学を認める場合、想定される課題は。